

第10回 学術大会（北海道）を終えて

日本発達系作業療法学会第10回学術大会は、昨年度に引き続きオンラインでの実施でしたが、お蔭様をもちまして盛会のうちに無事終了することができました。多数のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。次回、長崎学会（大会長 岩永竜一郎理事）にてお会いできる日を楽しみにしております。

大会長 中島そのみ（札幌医科大学保健医療学部）



開会式 学会長挨拶：加藤寿宏理事（京都大学大学院医学研究科）



開会式 大会長挨拶：中島そのみ理事（札幌医科大学保健医療学部）



指定演題 1：

「日常的な活動姿勢の選択と認知発達からみた重症心身障害児への長期支援について」

(右上) 座長：辻 善城理事 (大阪赤十字病院附属 大手前整肢学園)

(左上) コメンテーター：米持喬幹事 (大阪発達総合療育センター)

(下) 発表者：佐藤匠さん (済生会みどりの里)



指定演題 2：

「不登校となっている自閉スペクトラム症児に対し、これまですべきだったこと・これからすべきこと」

(左上) 座長：伊藤祐子理事 (東京都立大学保健福祉学部)

(右上) コメンテーター：助川文子幹事 (県立広島大学保健福祉学部)

(下) 発表者：中黒麗子さん (札幌・すがた医院)

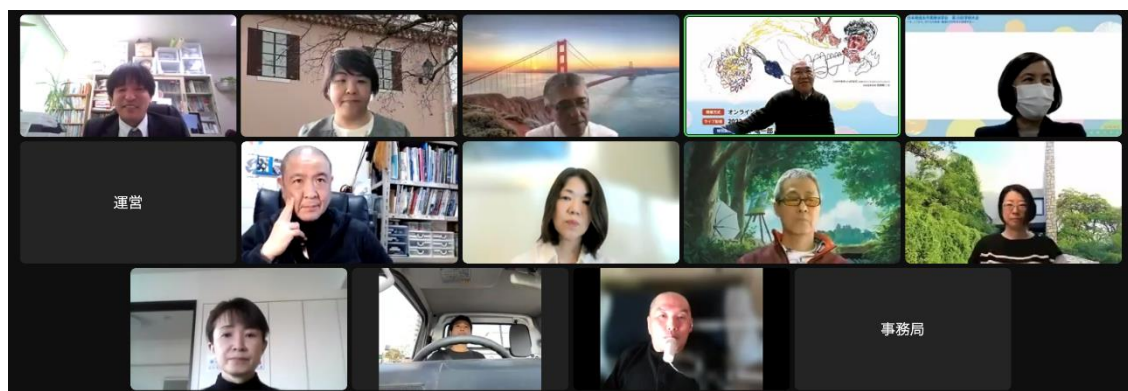


特別講演：

「子どもの未来、発達OTの未来について」

(左) 講演者：岩永竜一郎理事（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科）

(右) 座長：仙石泰仁理事（札幌医科大学保健医療学部）



閉会式：理事一同